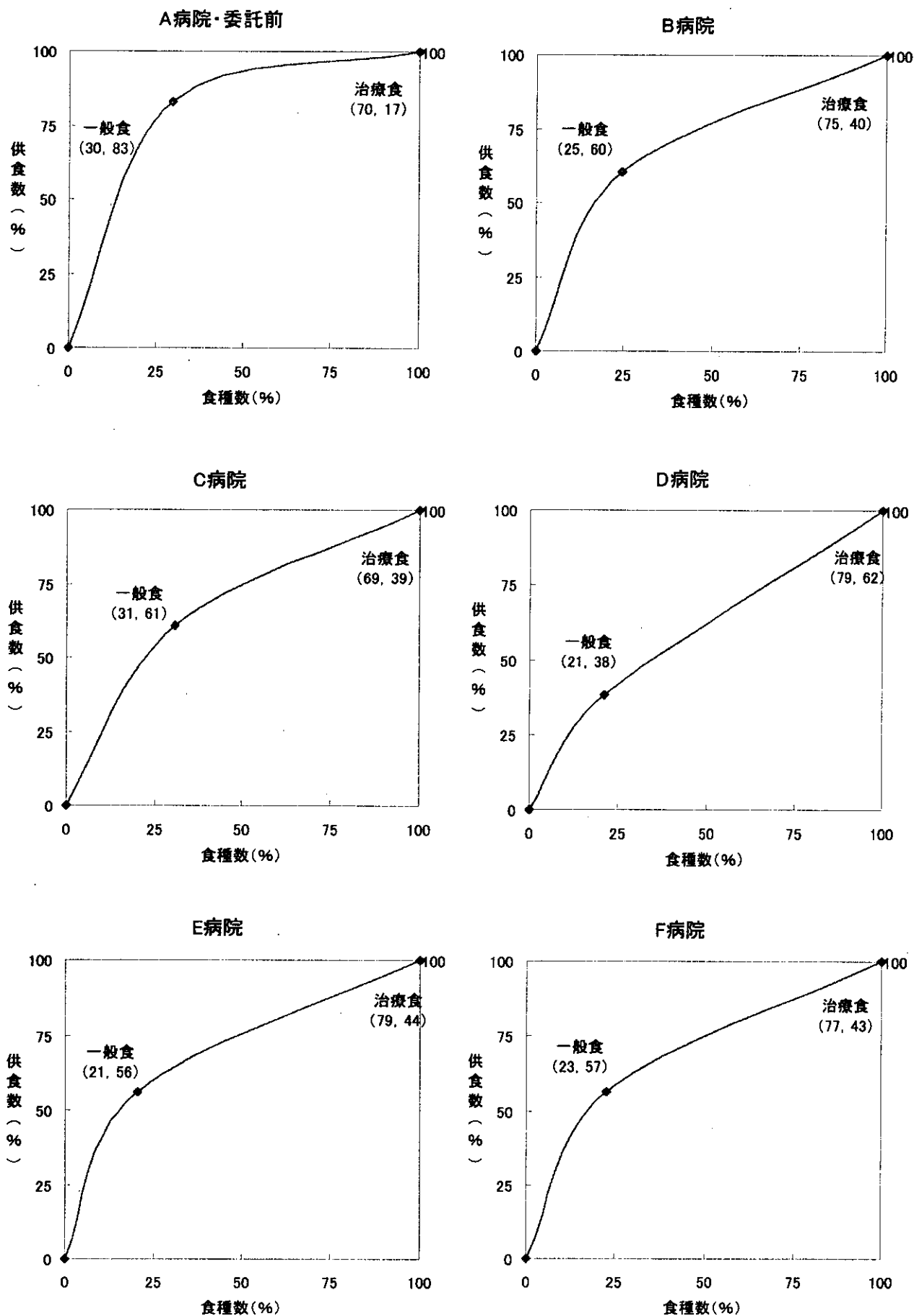


図4 一般・治療食数の供食数に占める割合 (%)



6. 考察

近年の栄養士法の一部改正に伴い、管理栄養士の業務は傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導と定義づけられ、各医療現場においては患者の栄養状態を評価・判定し、栄養指導・栄養ケアを計画、実施、モニタリング、評価することが求められている。これには、従来の病院給食業務から栄養ケア管理業務への転換、あるいはその拡充を速やかに遂行することが求められている。そこで、栄養ケアと栄養マネジメントを中心とした栄養士の業務管理調査手法を検討するために、栄養ケア業務管理項目を作成し、その実用性について検討した。

当調査はマークシートによる自己記入式を採用している。これは、一病院当たりの栄養士配置人数が少ない状況の中で、栄養士自身が自己の業務を分析、評価、改善する必要があることから、簡便に実施できる手法が必要であったためである。実用化試験における栄養士 33 名の 5 日間にわたる調査票の回収率は 100%と良好であり、チェック漏れや記入ミスもほとんどなく、全てが分析対象として有効と見なされた。それゆえ、自己記入式の調査としての実用性は高いと考えられた。

実用化試験の実施病院は、栄養ケア業務を重視し、しかも特性の異なった 6 病院であった。これらの病院特性は、大項目、中項目、小項目などの業務項目別の業務時間構成結果にみられる業務内容やその構成割合に相違として認められたことから、当調査によって栄養士業務分析が可能であることが確認できた。また、各項目は、職階別、あるいは個別に業務の相違を検討する際にも活用出来ることが明らかになった。

開発した栄養ケア業務管理項目における小項目は、各病院特有の業務項目が加えられ、最終的に約 100 項目になった。各項目利用率を見ると、利用率の低い項目は人事労務管理、財務管理、物品管理に集中していた。しかし、これらの業務項目は年度末等には利用率が高まる項目であることから削除することはできなかった。また、事前調査で「行わない」と回答され、しかも実際利用されなかった項目には、全病院に共通する項目がみられなかった。それゆえ、実用化試験段階での 9 つの大項目、18 の中項目、76 の小項目は全て「栄養ケア管理項目」として採用することにした。

一方、各病院において小項目の上位 20 項目（全体の 20%）で業務時間全体の約 80%を占めることが明らかになった。それゆえ、当栄養ケア業務管理項目にはパレート理論が当てはまることになる。さらに、「栄養ケア管理項目」の業務分析への活用成果から、給食委託に伴う栄養ケア業務の量的、質的の変化についての分析、給食管理業務時間伸延に関連する要因の分析などが可能であることが明らかになった。

それゆえ、開発された「栄養ケア管理項目」を用いて、栄養士が実施する栄養ケア・マネジメントに対して生産管理的分析をすることが可能であり、栄養ケア業務の構築と効率化に寄与するものと考えられた。

当栄養ケア業務管理項目の開発の最終目的は、病院における NCM をシステム化を推進し平均在院日数の短縮に寄与するために、当項目による業務調査を通じて栄養ケア・マネジメント技法を導入し、栄養士業務を従来の給食管理から栄養ケアへの改変を円滑に行うとともに、その業務の標準化ことである。したがって、今後は NCM 推進の程度に差異のある

約 100 病院において、当栄養ケア管理項目を用いた栄養部門の業務調査を行い、NCM 推進のための業務の評価方法、業務改善目標の設定の仕方、業務の標準化のための具体的手法について検討する必要があると考えている。

謝 辞

調査にご協力頂いた聖マリアンナ医科大学西部病院栄養部、せんぼ高輪病院栄養管理室、国立長野病院栄養管理室、社会保険高浜病院栄養課、溪仁会西円山病院栄養科、財団法人竹田総合病院栄養科の栄養士各位に心より謝意を表します。

文 献

- 1)厚生省老人保健事業推進等補助金研究「高齢者の栄養管理サービスに関する研究」－報告書－、1996、1997、1998、1999.
- 2)細谷憲政、松田朗監修、小山秀夫、杉山みち子編集、これからの高齢者の栄養管理サービス－栄養ケアとマネジメント－、第一出版、東京、1998.
- 3)小山秀夫、杉山みち子、病院内栄養管理の質が医療経済に及ぼす影響、社会保険旬報 2056；12-17、2000.
- 4)杉山みち子、平均在院日数短縮化に資する栄養管理マネジメント技法、厚生科学研究費補助金 平成 11 年医療技術評価総合研究事業「マネジドケアにおける医療システムの経営管理技法の導入効果に関する研究」(H11－医療－002) 研究報告書(主任研究者小山秀夫)、55-70、2000.
- 5)大浦武彦、近藤喜代太郎、真田弘美、杉山みち子、徳永恵子、藤井徹、宮地良樹、森口隆彦、本邦 205 病院・病院における褥瘡治療の方針と治療方法、日本医事新報 3991：12-20、2000.
- 6)厚生省 栄養士法の一部を改正する法律(法律 38 号)平成 12 年 3 月 31 日.
- 7)厚生省 管理栄養士・栄養士養成病院カリキュラム等に関する検討委員会報告書について、平成 13 年 2 月 5 日.
- 8)高齢者の栄養管理サービスプロジェクト・チーム、高齢患者の Nutrition Care and Management (NCM) システム開発と実施可能性、厚生省老人保健事業推進等補助金研究、高齢者の栄養管理サービスに関する研究－報告書(主任研究者 松田朗、分担研究者 小山秀夫、杉山みち子)：9-44、1999.
- 9)Shanklin,G.W., Hernandez, H.N.,Gould, R.M., Gorman.M.A. : Documentation of time expenditures of clinical dietitians : Results of a statewide time study in Texas. JADA 88 : 38 - 43、1988.
- 10)Gobberdiel L.,. : A new strategy for cost-effective care : Clinical dietetic staffing by diagnosis. JADA 86 ; 76 - 79、1986.
- 11)鈴木久乃：集団給食の作業分析、病院設備 26 (4)；329-338、1984.
- 12)社団法人病院管理研究協会「川崎市立井田病院 病院改築基本構想策定に関する調査研究」、1993.
- 13)高橋興亜：(財)政策医療振興財団研究助成金に基づく研究レポート 病院栄養士の専門性と今後の課題(主任研究者 高橋興亜)、医療の広場 39；20-39、1999.
- 14)鈴木久乃、羽田明子、太田和枝：改訂新版 給食管理、第一出版、東京、1998.
- 15)Guideline for the Application of the Hazard Anakysis Critical Control Point(HACCP) System. 1995
- 16)総合衛生管理製造過程の承認制度に係る「HACCP システムについて相当程度の知識を持つと認められる者」の要件等について、厚生省生活衛生局食品保健課長・乳肉衛生課長連盟通知、衛食第 31 号・衛乳第 36 号、平成 9 年.

**「マネジドケアにおける医療システムの経営管理技法
の導入効果に関する研究」研究報告書**

本研究は、平成 12 年度厚生科学研究費補助金「医療技術評価総合研究事業」
により実施されたものである。

2001 年 3 月発行

国立医療・病院管理研究所

医療経済研究部

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-23-1

TEL.03(3203)5327

FAX.03(3202)6853
